

〈支援企業を訪問しました〉

日本マイクロ工業株式会社 殿

「トップの強力なリーダーシップでのISO推進で、お客様の多様なニーズに応える！」

日本マイクロ工業株式会社（山本 隆治社長 上尾市領家）は、1953年東京都北区田端で製図器具等へのめっき工場「宮下メッキ工業所」として創業、その後1972年に現在の地、上尾市領家工業団地に移転し、フレキシブル基板及び小物電子部品へのめっき工場として現在に至っております。

当時のフレキシブル基板へのめっき工場はライバル工場も少なく、隆盛を極めていました。顧客はソニー、富士通等大手企業が多く、品質・環境等への要求は極めて厳しく、指摘事項対策等監査対応に費やす時間が膨大の為、管理レベルを高めてお客様の要求に応えるため、アブセックに支援を要請し、ISO9001&14001を取得することとしました。日本マイクロ工業㈱とアブセックは、2004年3月にISOへの取組みを開始し、翌2005年に品質・環境のISO認証を取得しました。当時、中小のめっき工場で品質・環境のISO認証を同時に取得した企業は少なく、お客様からの信頼も高まり、企業業績も順調に推移してきました。



山本隆治社長

しかし、リーマンショック（2008年9月）、東日本大震災（2011年3月）以後、日本経済も様変わりし、資材の高騰やコストダウンの要求強化等に加えて、顧客の海外展開等で日本マイクロ工業㈱も非常に厳しい経営環境下におかれまして。

2015年9月にISO9001&14001の規格変更が行われ、その趣旨の、①経営トップのリーダーシップ強化。②顧客満足の向上とパフォーマンス強調（目的・目標とは達成することなり）。③品質管理の強化とリスク管理採用。に惹かれ、早くISO2015年版に取組み『経営目標』を達成し、お客様の要求に応えようとの山本社長の強い思いで2016年4月にアブセックに支援を要請し、認証移行作業がスタートしました。



フレキシブル基板（イメージ）

取組みのスタートでは山本社長の強いリーダーシップの基に基準類はアブセックが作成し、現場展開は社長が先頭に立って実行しました。先ず企業の経営課題を『強み』『弱み』『機会』『脅威』別にクリアーにし、達成すべき目標を明確化し、リスク管理では全員運動として『ヒューマンエラーを減らそう』を実施、品質面では顧客クレーム至近7ヶ月『ゼロ』、未納『ゼロ』を達成。環境負荷の低減はスマートクロック設備導入等で電力使用量を5%（3,500kw/月）の節電を図り、お客様からも高い評価を頂きました。その結果2016年12月にISO2015年版に合格致しました。

認証取得を契機に「日本マイクロ工業㈱は更なる発展を目指す」と、山本社長は結ばれました。（中川 記）

ご意見・お問い合わせはこちらまで



上尾商工会議所 桶川市商工会 伊奈町商工会 北本市商工会 鴻巣市商工会  
アブセック事務局 TEL 048-773-2391 E-mail [abcec@ageocci.or.jp](mailto:abcec@ageocci.or.jp)